

令和 6 年度 第 3 回 大阪市立玉出小学校 学校協議会 実施報告書

校 名 大阪市立玉出小学校

校長名 山岡 良知

日 時	令和 7 年 3 月 11 日 (火)	
場 所	玉出小学校 会議室	
出席者	委員 など	会長及び委員 計 6 名
	校 園	校長、教頭、首席
	区 役 所	保険年金担当課長
議 題	(1) 令和 6 年度玉出小学校の教育について (2) その他	
協 議 要 旨	協 議 の 結 果	意 見 の 概 要
	(1) ○運営に関する計画の最終評価について意見をいただき、取組内容の理解を得た。	○学力に関して、大阪市学力経年調査の結果が、大阪市の平均を下回っているものが多く、数値だけで判断するものではないというものの、国語力の低下が気になる。そのなかで、6年生の算数、英語が上回っていることから、専科授業の効果もみられるようである。 ○テストにおいて、問題で問われていることを正確に理解するには、やはり国語力が大切だと感じる。 ○経年調査において、無解答率が低いことから、真剣に望んでいることがうかがわれ素晴らしい。 ○不登校の数が横ばいの状況であるのが気になる。学校の働きかけに加え、生活リズムの乱れを正したり、登校の促しをしたりなど、家庭の協力が必要である。また、不登校の児童だけに限らず、家族で深夜まで出かけている話を聞いたり、実際に見たりしている。家庭への啓発も含め、地域でできることを模索していきたい。 ○アンケート結果から、児童の自己肯定感が高いにもかかわらず、そこで満足せず、教員が 100%を目指したいということが素晴らしい。 ○学力低下の課題は本校だけの問題ではない。課題である。ゲームやスマホを使用している時間が長く、勉強がおろそかになっている。この課題の解消は様々な要因があり難しいと思うが、取り組んでいただきたい。 ○ICT の活用が深い学びといえるのかどうか分からない。児童自身が機器を活用して学びを深めることが適する児童もいればそうではない児童もいるのではないかと感じている。 ○学力の低下が言われているなかで、40 分授業や年間指導時数の削減等も言われており、カリキュラムマネジメントを充実させ、PDCA サイクルがはたらいっている学校運営を目指してほしい。
協 議 資 料	○式次第 ○令和 6 年度「大阪市小学校学力経年調査」 ○12 月実施児童・保護者アンケートの結果 ○学校だより (1～3月号) ○令和 6 年度「運営に関する計画」(最終評価)	
備 考	傍聴者[0]名 保護者 0 名 地域 0 名	